

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



ジト目が可愛いメイドの弱みを握って
オギャれるママになってもらう♡

**この物語はフィクションです。
登場する人物・名称は架空であり
実在のものとは一切関係ございません。**


最近、俺は帰宅するとき
いつも気分が弾んでいる。

なぜなら——

おかえりなさいませ
ご主人様——

フッ……
ああ、ただいま
出迎えありがとう。

フッフッ




メイド服に身を包んだ彼女の
ショートカットの黒髪が揺れる。

淡い黄銅色の
瞳の少女――

目の前の彼女――
『ナユタ』は
礼儀正しく頭を垂れてる。

気分を
弾ませていた理由、

それは俺の生活に
彼女の存在があるからだ。



俺は元・しがない
サラリーマンの、31歳。

だがある日、宝くじを一発当てて
一躍大金持ちになり、
長年の夢を一つ叶えてることができた…!!

アニメやラノベでしか
触れることが
できなかった夢の存在——

専属メイドの女の子を
雇ったのだー!!

そうそう、

彼女を雇うことになった
経緯だが――

下心丸出して恐縮なのだが
完全に見た目と若さを基準に採用した。

小さな顔にシュツとしたジト目…、
そしてメイド服越しに主張する
大きなおっぱい…。



フリルの下から覗く
白ニーソの太もも……。

何をとつても魅力的だ。
思わず鼻の下が伸びる。

彼女はメイドカフェで
アルバイトしていた経験があるらしく、

そのついで本格的な
本格的なメイドの仕事を探していたらしい。



彼女が身につけているメイド服は
その時に使っていたものだと言った。

露出が多めな気がするものも……
それが理由かな。

そんなに
じつと見つめられると
照れてしまうのですが…

私の顔に
何かついていますが、
ご主人様…？

ああ、なんでもないよ
ナユタちゃん。



彼女は仕事はよくこなしてくれるし、
自分の生活圏内にメイドがいるというのは
かなり充足感のあるものだ。

可愛いくて
目の保養にもなるしな。




つい無意識にはだけた爆乳や太ももに
視線がいつてしまうが、


彼女のはずっとジロ目だから
怒っているのがどうが判別がつきづらい。

まあ、そういう服を着ている
彼女にも責任はあるたる。……多分。

ムラ..

A blurred photograph of a hallway with a white text box in the center. The hallway has a wooden floor, a dark wooden door on the right, and a framed picture on the left wall. The text box contains the Japanese text 'そして 1ヶ月後...'.

そして
1ヶ月後…



彼女を雇い始めて
あっという間に1ヶ月が経った。
この生活にも慣れてきたと思いはじめた頃…。

最近、就業時間中に
彼女を見かけないことがしばしばある。

もちろん食事の用意や、掃除、洗濯など
彼女に与えた基本的な家事は
こなしてくれているのだが……、

要領が良すぎるのが、
仕事を終えてはいつものまにが
フワフワとどこかに行ってしまうのだ。

しかし、呼びつきたい時に居ないので、
こちらとしても専属のメイドを
雇っている意味がない。

彼女を探してみることにするか。

おーい、ナユタ？
居ないのかー？

そして――

ふうふうう……

廊下の隅の角で、
気持ちよさをうに一服している
彼女を発見した。

くわわわ……

ナユタ……ちゃん？

あ……

ち、ちがつっ……
これは……っつ!!

彼女にしては珍しく
目を大きく開いて狼狽している。

ヒッ
カヤ
ム



咄嗟に隠したようだが…。

タバコ…、だとしたら普通に規則違反…
というか法律違反だ。



ち、違つんですし…
いや、違わないんですけど…

ッ

訂正させてもらうと
これはタバコじゃなく
ベイプっていうで…

未成年も許されてる
お菓子的なやつで…っ

味のする煙みたいな感じで
意外とおいしいですよ!?

いや、この状況で
何言ってるんだ…。

それでも仕事中に
煙ふかすのは
普通に規則違反だから…。



この様子じゃ
ナユタもだいぶ混乱しているみたいだな。
口調も普段のかしこまった感じでは
なくなっちゃまっている。

俺は顎に手を当てて考える。

プライベートで個人的に吸っているなら
部外者は口出しできないが、
今回に限って俺と彼女は雇用関係にある。

しかるべき対応が必要だろう。



お、お願いです…。

ご主人様、
私、ここで働けなくなったら
困るんです…。

えい

最悪クビになる想定も
しているみたいだ。

まだそこまでするとは
言っていないんだが…。

私、目つきが
悪いからか…

ここで雇ってもらったまで
なかなかメイド職に
就くことができなかったんです…
だから…。

で、キレてたのよ
なんでもします、から…っ!!
見逃してもらえませんか…?

な、なんでも…?

な、何でもですっ!!

弱みを握られたナユタはかなり焦っている。
この様子では本当に
何でも言うことを聞いてくれそうだ。

へへ……、まあ元は
下心で採用したんだしな…。

ふふ…
妄想が捗るな……

ご主人様……？

ふしだらな事を
考えてそうな
顔になってます…。

言い出しっぺの
私が言うのもなんですが…
一体何をされる
おつもりなのでしょう…





よし...

なでなで...♡
きんぎょく...♡

よし...♡

ご主人様
よしよし…♡

頭の感触…、
男の人って感じの
髪の毛の感触です…♡

たごび

たごび

ご主人様って
変態さんだったんですね…♡

メイドの私に
『クマ』になってほっこり、
だなんて…♡

こんな風に
私になでなでされて
嬉しいんですか？♡

うん…っ

ふっ…ご主人様なのに
なんだか子供に
なっちゃったみたいですね…♡

たふ♡

たふ♡

たふ♡

たふ♡

たふ♡



あの後すぐ俺は
自分の欲望を正直に告白した。
俺のママになって欲しいと…!!

彼女も最初こそ面食らった様子だったが、
少し悩むようなそぶりを見せていたので、
『これは「E」押しはらいける』
と確信した俺は、
土下座をする勢いで彼女に懇願した。

というか実際に土下座した。

その時に主人としての
プライドなんか捨ててきた、
今はこのプレイを楽しむんだ……!!



この1カ月、
ずっと私をやらしい目で
見てたんですか？♡

膝枕して
なでなでしてるだけなのに
息が荒くなってます…♡

まったく
悪い赤ちゃんですね…♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあはあ…
な、なめたママのおっぱい
見たいよお…

……じっ
……もう、ほんとに
ませてるんですから…

でも、今の私はママだから
赤ちゃんにおっぱいを見せるなんて
当たり前、だよね…♡

ご主人様、
普段とギャップがあつて
なんだか可愛い
気がしてきちゃう…

甘えられるのも
悪くないかも…

モゾ♡

モゾ♡

ほおろ♡

んんん

チビ

ほおろん

ボクの大好きな
おっぱいの時間だよ…っ♡



思ったより顔近いっ…
触れてもないのに温かい吐息が
乳首にあっただって…

はあっ…♡

思わず
声出ちゃた…

ビクッ♡

ムクッ♡

はあ♡

はあ♡

もう、そんなに
物欲しそうな顔しなくても
大丈夫でしゅよ…♡

おっぱいは
逃げないから…♡

今啜えさせて
あげますよお…♡

トロン♡

まっ♡

まっ♡

まっ♡

ぢゅ♡

は…♡

は…♡



…っ!!!♡♡

そんな赤ちゃんみたいに
夢中でむしゃぶりついて…♡

あっ……♡乳首の先、
コリコリっ♡っ♡…!!!

んむ…っ!!!

ビクッ…

ビクッ

レロッ





あぁっ♡

乳首の先ばっかり
なぞって…っ

こぁ…っ♡♡

舌っつてこんなに柔らかくて
温かくて…
気持ちいいんだ…♡

あぁっ♡

ちゅるっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

ちゅるっ♡

ちゅるっ♡

ちゅるっ♡

ちゅるっ♡

ちゅるっ♡

ちゅるっ♡

ん...♡
ママの「ママ」が気持ちよくなっちゃう
くらいなんだね...♡

えらいえらい...♡

それじゃあ...
ママからもボクちゃんに
ご褒美あげないかね♡

ほっ

ほっ

ほっ

ほっ

ほっ

ほっ

ほっ



ほの、ほの……♡

ナツタはそう言っ
て人差し指の爪先で下半身の膨らみを
かりかり……♡と刺激する。

ふふ……♡

えっちなお漏らしの
染みがでるくらいい……

赤ちゃんおちんちん
寂しくなっちゃったんだよね♡

今からほのほのも
よしよしして
あげるからね……♡

ふふふ

ふふふ

ふふふ
ふふふ

精一杯おつきしてる
赤ちゃんおちんちん、
皮の上から
コスコスしてあげるから…♡

腰がへこへこ
しちやうへんらい
気持ちいいゆっぴゅ
しまじょうね…♡

おっぱい吸いながら
甘えてもいいんだよ…♡

なぞ

ビビ





ほおら……
指の動きに合わせて
しじじい囁いてあげる……♡

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

んんっ……
鼻息が荒くなつて
吸い付きも強くなつてきた…♡

気持ちいいんだねえ…♡
素直に気持ちよくなれて
えらいえらい♡

指の動き早く
してあげると…

そのまま私の手に
出しちゃっていいからね♡





♡♡♡♡♡
出しちやえ...♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

よしよし…♡
濃おいミルク
たくさん出せましたね…♡

ママのために
こんなに出してくれて
ありがとう♡

びゅるびゅるう…うて
勢いあるお射精
とつてもかっこよかったよ♡

ん…♡
頭でなで
してあげるから…

余韻に浸りながら
全部出しちゃいましょね…♡

たて

たて

たて

たて

たて





体験版はここまでになります！

**彼女とのあまあまなえっちの様子は
ぜひ、製品版にてお楽しみください♡**